我々は、こうした路線が「10・21」に於て現実的にもその破産を露呈したにもかかわらず、居直りをつづけ更にそれを更に純化させるべき綱領をもって「三度目の決戦」を行ったばかりでなくおおいかくそうとしている社共の学生運動に対して、権力の弾圧によって粉砕される以前にそれを反動と生み出す革命的学生が、自らのうちの実践によって引導を渡してやらねばならない。

大目標　11・13全国ゼネスト――11・16佐藤訪米阻止闘争の大爆発をもって、佐藤訪米を実力を上げて粉砕せよ！

全日本の学友諸君！

「10・21」において我々は新左翼の首都圏で激突し、全学連一日本反帝学生全国三千の部隊で、「非武装体制」を突破し日米両帝国主義者を震撼せしめ、そして社共のみならず、革共同中核派主義者の実践的破産を「見事」に浮き上げたのであった。

しかしながら、「10・21」戦線のその「教訓」は、一部「ロックアウト」される実力によるゲバルトへの過度の主観主義的評価=闘争力主義的評価を行うことにより、そしてまた、そうした権力の暴力装置の肥大化の反中にあっても爆発を上げることは出来なかったこと、この三派のそれであり、かつ「ゲバ棒」が行えなかったところの「総括」として、革命のエスカレートと「武装」の深化の要請がはやされるなかの中に、そして更にはかつて「羽田空港占拠」ということ急進的な行動を展開にも意図し、決定的に自殺をつき進んでいく諸派ネック党派集団と社共の闘争放棄の中に、集約的に表現されている日本階級闘争の腐敗と混迷、そしてそれを主体的契機とした「非武装体制」の更なる強化がおし進められ、それすることによって、日米両帝国主義どもの70年安保=沖縄政策にむけての帝国主義的野望のプロレタリアート的な主導権をとり、それを有利にしているのみならず、容易に全く革命実を得ようとしているのである。

今や、こうした事実に、我々の「10・21」をもって、巨大化した闘いの佐藤訪米阻止闘争にむける我々の任務が存在しているのである。かかる「10・21」の破産によって表れた日本階級闘争の危機と混迷をのりこえ、その変革の帰結して日米両帝国主義どもの安保=沖縄政策の帝国主義的本質を赤裸々にしていくことは、先進的反戦学生の全てに課せられた責務である。この日本の

安保=沖縄政策に対して、我々は沖縄の「本土並み」、自由使用返還」政策粉砕！のスローガンを発展させつつ、反安保=沖縄斗争として行わなければならない。即ち70年安保条約自動延長化に対して、我々は単に安保反対にとどまらず、明確に安保破棄を目指すとともに、70年安保の推進者たる佐藤自民党政府打倒をめざして行っていかねばならない。そしてそのような安保破棄・自民党政府打倒の斗いは、安保破棄、自民党政府打倒を目指す広大な反安保斗争の飛躍的推進によってこそ、田中的に労働者階級の革命的組織化を軸とした反政府斗争への革命によって実現されなければならない。この時に際とのもとに、社共の「総学運動」路線やトロツキズム急進主義者の「決戦」主義「ソ連のべ平連の三派」として内ゲバをやっているゲバルト派を克服してこそ、真に革命的な反安保斗争の爆発をもたらすのでなければならない。さらに我々は沖縄における反戦、民主的諸権利等の反民的課題をめぐる斗いを同時に位置づけ、そしてそのような斗いをサンフランシスコ条約第三条の破棄を通じた沖縄人民の解放の斗いへと集約する斗いを目ざして行かなければならない。また、かかる斗いを現在の政策の深部において革命的・先進的労働者と連帯しつつ打ちとらねばならない。かのスターリン=日共派のごとき、ルンペンプロ反戦の街頭ゲバ闘争の模倣のみならず、行動左翼集団の「山猫スト」行うストライキの闘争などを断乎として粉砕し、社民ダラ幹の支配下の労働の左翼的斗争推進を、千三ヨとして、独自活動やフラクション活動の実現によって、労働者階級の前衛的組織化を求実に実現しつつある。我々は革命的労働者の斗いを切りひらいていくものとして、我々はこのようにしてでなくてはならない。10・21斗争はこの斗いを通じての斗争領域、[illegible]の反安保斗争の反政府斗争の担い手たる労働者階級との連帯のもとで初めて反安保斗争の反政府斗争への高揚も可能となるのである。

全日本の学友諸君！

我々はすでに羽田闘争に突入した。この斗いはかつて我々は一切の既成指導部、小ブル急進主義者の斗争の全面的破産を[illegible]くてはならない。たとえそれが「決戦」主義者の「10・21」破産がいかであろうとも、まさに我々自身の斗いによって現実的に彼らの破産を更に深化させねばならず、日本階級斗争の真の飛躍はかちとりえないだろうから。

小ブル急進主義者の自滅とは明確に異なった地平において鮮明な思想的、組織的展望のもとに、11・13総評労働者の佐藤訪米抗議の政治ストに連帯しつつ、11・13よりの全国学生ゼネスト、ストライキを爆発させ、この巨大な学生のエネルギーを基盤に11・16佐藤訪米実力阻止斗争を××××××××××斗いとして強烈に展開せねばならない。

小ブル急進主義者の如く主客の力関係をわきまえることなく単なる軍事的打撃のみをもって破以革命を信ずるのではなく、あくまでも現段階における安保=沖縄斗争の飛躍的推進を主として、国家権力の「非常体制」を×××××××粉砕し、わが革命的学生運動の能力を全世界のプロレタリアート人民の前に誇示しめようではないか！

全日本の学友諸君は、日本反戦学生会議の旗の下に結集せよ！11・16佐藤訪米を革命的に斗い抜け！